

小石川植物園の史跡指定の経緯

文京区教育委員会教育総務課文化財保護係
文化財調査員 丹野 祥枝

1. 小石川植物園の沿革

縄文時代 温室周辺は小石川植物園内貝塚・原町遺跡としても登録
明治 11(1878)年にエドワード・モースにより調査

江戸時代
～元和 2(1616)年頃 篠川神社(氷川神社)・百姓地
元和 2(1616)年～慶安 5(承応元・1652)年 白山神社ほか・百姓地
慶安 5(承応元・1652)年～延宝 8(1680)年 館林藩下屋敷
天和元(1681)年～正徳 3(1713)年 小石川御殿となる 元禄 11(1698)年には御殿が拡張
貞享元(1684)年に麻布から薬園移転
正徳 4(1714)年～享保 6(1721)年 御殿廃止し武家屋敷に転換
享保 6(1721)～延享 5(寛延元・1748)年 御薬園・養生所(施薬院)(享保 7年)
享保 20(1735)年には青木昆陽による甘藷試作
延享 5(寛延元・1748)年～慶応 4(明治元・1868)年 御薬園・養生所・武家屋敷

明治時代以降
慶応 4(明治元・1868)年 東京府(医学校)所管 大学病院附属御薬園
明治 2(1869)年 大学校所管 医学校薬園
明治 8(1875)年 文部省所管博物館附属 小石川植物園
明治 10(1877)年 東京大学所管 法理文三学部附属植物園
東京大学附属小石川植物園(明治 13(1880)年)
東京大学植物園明治 17(1884)年
帝国大学理科大学植物園(明治 19(1886)年)
東京帝国大学附属植物園(明治 30(1987)年)
東京帝国大学理学部附属植物園(大正 8(1919)年)
東京大学理学部附属植物園(昭和 22(1947)年)
東京大学大学院理学系研究科附属植物園(平成 10(1998)年)
明治 42(1909)年には北西隅に農科大学の植物実験圃場設置→現在の農学生命科学研究科附属小石川樹木園
昭和 44(1969)年に本郷から東京医学校本館が移築される 標本館と称する
昭和 45(1970)年 旧東京医学校本館として国重要文化財に指定
平成 23(2011)年 東京大学総合研究博物館小石川分館として利用

2. 都指定史跡・旧跡になるまで

明治 30 年代頃 史跡名勝天然紀念物の保存活動 (古木保存の活動など)
→史跡名勝紀念物保存協会発足 三好学
明治 44(1911)年 貴族院に「史蹟及天然記念物ニ関スル建議案」提出
4 月 内務省地方局『都下に於ける史蹟並天然記念物一班』其一
「理科大学付属植物園史蹟並老樹」
大正 4(1915)年から 「東京府管内に於ける史蹟名勝天然紀念物の標識すべきもの」
「施薬院」・「大銀杏」・「貝塚」 『史蹟名勝天然紀念物』
大正 7(1918)年 東京府告示第 339 号で指定
大正 8(1919)年 史蹟名勝天然紀念物保存法成立
大正 12(1923)年 関東大震災 植物園内で市民が避難生活
昭和 20(1945)年 空襲により温室・旧植物学教室建物・正門(黒門)・集会所等と多くの植物焼失
昭和 27(1952)年 都文化財保護条例・附則で都史跡指定
昭和 30(1955)年 都文化財保護条例・附則で都旧跡指定

3. 都旧跡から国指定になるまで

平成 18(2006)年 12 月 東京都教育委員会から文京区教育委員会に小石川植物園についての調査依頼
平成 20(2008)年 10 月～ 都教委・区教委から東京大学へ指定についての伺い・協議
平成 22(2010)年 8 月～ 文化庁・東京大学・都教委・区教委で協議
平成 23(2011)年 文化庁・東京大学・都教委・区教委で現地確認
平成 24(2012)年 1 月 区教委から国指定文化財(名勝及び史跡)について(意見具申)提出
6 月 15 日 文化庁 史跡名勝の新指定を答申
9 月 19 日 小石川植物園(御薬園跡及び養生所跡) 名勝及び史跡指定
江戸時代の薬園を起源とする日本初の近代植物園
変化に富んだ地形と多様な植物等による風致景観
江戸時代の地割を伝え、養生所などの遺構が残る
日本医学史上・植物学史上の価値高い

4. 国指定前後の発掘調査

平成 23(2011)年 11 月～12 月 御殿坂調査
平成 26(2014)年 8 月～9 月 温室調査(試掘)
平成 26(2014)年 12 月～平成 27 年 6 月 西側道路調査①
平成 27(2015)年 9 月～平成 30 年 3 月 温室改築調査
平成 28(2016)年 6 月～8 月 西側道路調査②
平成 30(2018)年 1 月～2 月 二項道路調査(試掘)
平成 30(2018)年 5 月～ 二項道路調査